

HPCI-CPD534 と HPCI-CPD574Nの違い

CPDシリーズ・モーションコントロール・ボード である4軸位置決めHPCI-CPD534ボードと機能追加位置決めHPCI-CPD574Nについて主な機能一覧を記します。

1. 機能比較

機能一覧	HPCI-CPD534	HPCI-CPD574N
エンコーダA/B相入力周波数	4 Mcps (4 通倍) カプラ受け	6.5 Mcps (4 通倍) 差動入力のみRS422受け
エンコーダA/B入力終端	ジャンパ設定	DIPスイッチ設定
リミットセンサ, SV/IF入力フィルタ (±ELS, DLS, OLS, SVALM, INPOS)	1000 μs	300 μs
マスタ追従機能 ※	なし	あり
並行2軸制御機能※	なし	あり
スレーブ軸拡張機能 ※	なし	あり
オプションポートクリアレジスタ	なし	あり (+a 8Hにてリセット)
ボードID	ジャンパスイッチ設定	ロータリーDIPスイッチ設定
J1コンパレータ一致出力	なし	4軸(X~U) ポート(8aH)にてON/OFF無し
J3同期入力出力	なし	あり(A相, B相 各1)
J3定速動作中(または汎用)出力(TTL)	なし	あり(X軸, Z軸 各1)
PC供給電源	+5V	+5V, +3.3V

2. HPCI-CPD574N 独自機能について

独自機能	仕様
マスタ追従機能	X軸のエンコーダ入力または同期パルス入力をスレーブ軸(X~U)の指令パルスとして出力が可能
並行2軸制御機能	X軸をマスタ軸とし、X軸の指令パルスがそのままY(Z, U軸)から同期出力として出力可能
スレーブ軸の拡張	Z軸をサブマスタ軸とし、Z軸の指令パルスがそのままU軸から同期出力が可能

3. HPCI-CPD574N コンパレータ一致出力

コンパレータ一致出力: J1, J3コネクタよりCMPX~CMPUの出力が可能になりました

同時スタート/ストップ STA/STP: J3コネクタより出力が可能になりました

この他にJ3コネクタからは、ボード間、マスタ・スレーブ接続用入出力 SYNC A, SYNC B取出しが可能です

4. HPCI-CPD574N のアクセサリのご案内

従来製品HPCI-CPD534でご採用頂いていたアクセサリは、HPCI-CPD574Nには、ご利用出来ませんがHPCI-CPD574Nご採用時には、専用アクセサリのご用意をお願いします

アクセサリ コネクタボード: ACB-HU1004/DS※ or DR (端子台型: ACB-DX100/D S※or DR)
をご選定下さい

※DINレール取付台付きをご用命の場合は、(D)を付加願います

アクセサリ ケーブル: HCL-051, HCL-051W, よりご選定下さい

※HPCI-CPD574Nは、HPCI-CPD578Nコネクタ及びピン配置が同じです